会員へのお知らせトピックス

※詳細は本会ホームページをご覧ください。

第174回秋季講演大会懇親会のお知らせ

9月6日(水)18:00~20:00、於:キリンビール園本館中島公園店、事前申込締切:8月14日(月)

<https://www.isij.or.jp/lecture-meeting/2017autumn/social-meeting/>

鉄鋼協会・金属学会男女共同参画合同委員会10周年記念シンポジウム

「企業・大学での助成活用とダイバーシティ推進を考える」

9月9日(土)9時開場、9:30~12:05、於:北海道大学工学部棟「オープンホール」

<https://www.isij.or.jp/godo/isijjim/>

秋季講演大会会期中の託児所のご案内

9月5日(火)~8日(金)、於:北海道大学 札幌キャンパス、申込締切:8月29日(火)

<https://www.isij.or.jp/godo/isijjim/>

第27回鉄鋼研究振興助成募集案内

申請期限:7月20日(木) <https://www.isij.or.jp/Josei/shinkou2017.htm>

日本鉄鋼協会研究会 I 平成30年度募集案内(公募)

申請期限:8月31日(木) <https://www.isij.or.jp/subcommittee/research-society/>

日本鉄鋼協会研究会 II 平成30年度募集案内(公募)

申請期限:8月31日(木) <https://www.isij.or.jp/subcommittee/research-society/>

平成30年度「鉄鋼協会研究プロジェクト」募集案内

申請期限:8月31日(木) <https://www.isij.or.jp/subcommittee/researchproject/>

「鉄の技術と歴史」研究フォーラム 第22回 公開研究発表会、平成29年度フォーラム総会 開催案内

7月22日(土)10:00~17:15、於:東京工業大学 大岡山キャンパス 本館1階 H111講義室、申込締切:7月14日

<https://www.isij.or.jp/mulmnf0hf>

鉄鋼プレゼンス委員会 歴史を変える転換技術研究フォーラム「第40回 歴史を変える転換技術研究会」開催のお知らせ

7月24日(月)13:00~17:00、於:(一社)日本鉄鋼協会 第1+2会議室 鉄鋼会館5階

<https://www.isij.or.jp/muw5k0uob>

行事等予定	403頁
ブックレビュー	407頁
「訂正とお詫び」	407頁
次号目次案内	408頁
日本鉄鋼協会事務局人事	409頁
会員欄(入会者・死亡退会者一覧)	409頁
平成28年度事業報告・収支決算および平成29年度事業計画・収支予算	410頁

行事等予定

太字は本会主催の行事。国際会議で○は協会にてサーキュラー等入手できます。
行事等の詳細は、本会ホームページ、★印はイベントカレンダーリンク先URLをご参照ください。

開催期日	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
2017年7月			
5日	第230回西山記念技術講座「鋼材の性能を引き出す溶接技術の最先端」(大阪)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
5,6日	第37回防錆防食技術発表大会(東京)	日本防錆技術協会	事務局 Tel. 03-3434-0451 jacc@mbf.sphere.ne.jp
5~7日	★第54回アイソトープ・放射線研究発表会(東京)	日本アイソトープ協会	学術振興部学術課 杉山 Tel. 03-5395-8081 gakujuetsu@jrias.or.jp
6,7日	★第27回電子顕微鏡大学(東京)	日本電子顕微鏡学会	電子顕微鏡大学ヘルプデスク Tel. 03-3362-9743 jsm-denken@bunken.co.jp
7日	★原子力分野における安全性・信頼性向上に向けた構造・材料技術開発と人材育成シンポジウム(原子力研究委員会60周年記念、第52回国内シンポジウム)(東京)	日本溶接協会	業務部 佐々木智子 Tel. 03-5823-6324 atom@jwes.or.jp
7日	★第34回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織の応用編(加工・熱処理による組織変化)」(第3回)(大阪)	軽金属学会	Tel. 03-3538-0232 jilm1951@jilm.or.jp
10,11日	第151回塑性加工学講座(愛知)	日本塑性加工学会	Tel.03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
10~12日	★DAMAS2017(構造物の損傷評価に関する国際会議)(福岡)	DAMAS2017実行委員会	Ghent University Prof. Wahab Tel. +32 9 331 04 81 DAMAS@ugent.be
10~12日	★No.17-9 第27回環境工学総合シンポジウム2017(静岡)	日本機械学会	環境工学部門担当 遠藤貴子 Tel. 03-5360-3506 endo@jsme.or.jp
12~14日	★日本結晶学会講習会「粉末X線解析の実際」(東京)	日本結晶学会	東京理科大学理学部応用化学科 Tel. 03-3260-4271 y.abe@rs.tus.ac.jp

開催期日	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
13, 14日	平成29年度鉄鋼工学セミナー「凝固専科」(神奈川)	日本鉄鋼協会	新日鐵住金(株) 高平信幸 Tel. 0439-50-2888(内線3801) takahira.52f.nobuyuki@jp.nssmc.com
13, 14日	★第58回塗料入門講座(東京)	色材協会	事務局 Tel. 03-3443-2811 admin@jscm.or.jp
14日	平成29年度日本鉄鋼協会・日本金属学会両北海道支部合同サマーセッション(北海道)	日本鉄鋼協会・ 日本金属学会 両北海道支部	北海道支部事務局 垣原 肇 Tel. 0143-22-0394 Fax. 0143-22-4180 hajime_kakahara@jsw.co.jp
19~21日	★メンテナンス・レジリエンス TOKYO 2017(東京)	日本能率協会	事務局 Tel. 03-3434-1988 mente@jma.or.jp
19~21日	★サーモテック2017第7回国際工業炉・関連機器展(東京)	日本工業炉協会	サーモテック事務局 宮島 Tel. 03-3262-8446 info@thermotec-expo.com
19~21日	★第44回コロージョン・セミナー 「サステイナブル社会を支える腐食防食エキスパートを目指して— 電気化学計測実習による腐食の基礎と評価法の理解—」(広島)	腐食防食学会	協賛担当者 Tel. 03-3815-1161 ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp
20日	第27回鉄鋼研究振興助成募集締切	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932
20, 21日	★平成29年度J-PARC MLF産業利用報告会(東京)	J-PARCセンター、総合科学 研究機構、茨城県、中性 子産業利用推進協議会	中性子科学センター 利用推進部 宮崎 司 Tel. 029-219-5300 t_miyazaki@cross.or.jp
22日	「鉄の技術と歴史」研究フォーラム第22回 公開研究発表会、 平成29年度フォーラム総会(東京 申込締切7月14日)	日本鉄鋼協会	幹事 古主泰子 Tel. 03-3669-4826 Fax. 03-3669-0226 furunushi@jisf.or.jp
23~28日	第43回鉄鋼工学セミナー(宮城)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
24日	鉄鋼プレゼンス委員会 歴史を変える転換技術研究フォーラム 「第40回 歴史を変える転換技術研究会」(東京)	日本鉄鋼協会	立命館大学 山末英嗣 Tel. 077-561-4693 yamasue@fc.ritsumei.ac.jp
24, 25日	第47回初心者のための有限要素法講習会(演習付き)(京都)	日本材料学会	事務局 船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp
24~26日	★平成29年度 溶接工学夏季大学(大阪)	溶接学会	夏季大学係 Tel. 03-5825-4073 jws-info@tg.rim.or.jp
25, 26日	第223回塑性加工技術セミナー(愛知)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
27日	第224回塑性加工技術セミナー(岐阜)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
27, 28日	第51回X線材料強度に関するシンポジウム(兵庫)	日本材料学会	事務局 船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp
28日	★レアメタル研究会(東京)	東京大学生産 技術研究所	岡部徹研究室 学術支援専門職員 宮崎智子 Tel. 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
28日	★第73回技術セミナー「腐食を理解するための電気化学入門」(東京)	腐食防食学会研究 事業委員会	事務局 Tel. 03-3815-1161 ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp
2017年8月			
1, 2日	★第26回日本エネルギー学会大会(愛知)	日本エネルギー学会	大会係 Tel. 03-3834-6456 taikai26happyo@jie.or.jp
3日	平成29年度学部学生向け「最先端鉄鋼体験セミナー」(千葉 申込締切7月3日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
4日	平成29年度学部学生向け「最先端鉄鋼体験セミナー」(九州 申込締切7月4日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
4日	第322回塑性加工シンポジウム(愛知)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
7, 8日	★第28回新構造・機能制御と傾斜機能材料シンポジウム(FGMs-2017) (愛知)	傾斜機能 材料研究会	名古屋工業大学 佐藤 尚 Tel. 052-735-5293 fgms_sato@lab-ml.web.nitech.ac.jp
17~19日	★2017年真空・表面科学合同講演会「第37回 表面科学学術講演会・第58 回真空に関する連合講演会」(神奈川)	日本表面科学会、 日本真空学会	事務局 上村恵美子 Tel. 03-3812-0266 taikail7@sss.org
19~21日	★日本混相流学会混相流シンポジウム2017(東京)	日本 混相流学会	実行委員会事務局 konsosymp@jsmf.gr.jp
22, 23日	第31回初心者のための疲労設計講習会(東京)	日本材料学会	Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp
25日	第225回塑性加工技術セミナー(東京)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
27~1日	★The 15th International Conference on Advanced Materials (IUMRS-ICAM2017)(京都)	日本MRS	事務局 meetings@iumrs-icam2017.org
28日	平成29年度学部学生向け「最先端鉄鋼体験セミナー」(愛知 申込締切7月28日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
28, 29日	平成29年度鉄鋼工学セミナー「製鋼熱力学専科」 (東京 申込締切8月4日)	日本鉄鋼協会	新日鐵住金(株) 岡山 敦 Tel. 0479-46-5510/Fax. 0479-46-5142 okayama.rt6.atsushi@jp.nssmc.com
28~30日	★日本実験力学学会2017年度年次講演会(岡山)	日本 実験力学学会	岡山理科大学 清水一郎 Tel. 086-256-9614 shimizu@mech.ous.ac.jp
29日	平成29年度学部学生向け「最先端鉄鋼体験セミナー」(岡山 申込締切7月28日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
29~31日	★平成29年度工学教育研究講演会(東京)	日本工学教育 協会、関東工 学教育協会	川上理英 Tel. 03-5442-1021 kawakami@jsee.or.jp
29~31, 1日	★第57回(2017年度)真空夏季大学(静岡)	日本真空学会	Tel. 03-3431-4395 ofc-vs@vacuum-jp.org

開催期日	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
29~1日	★Dynamics and Design Conference 2017/ 第15回「運動と振動の制御」シンポジウム(愛知)	日本機械学会	D&D/MoViC2017実行委員会 Tel. 03-5360-3505 DMinfo@jsme.or.jp
30, 31日	第47回初心者のための有限要素法講習会(演習付き)(京都)	日本材料学会	事務局 船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp
30~1日	第152回塑性加工学講座(愛知)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
31日	日本鉄鋼協会 研究会Ⅰ、研究会Ⅱ、鉄鋼協会研究プロジェクト 平成30年度募集締切	日本鉄鋼協会	Ⅰ:学術企画グループ Tel. 03-3669-5932 Ⅱ:鉄鋼協会研究プロジェクト: 技術企画グループ Tel. 03-3669-5932
31, 1日	平成29年度鉄鋼工学セミナー「溶接・接合科学専科」 (大阪 申込締切8月9日)	日本鉄鋼協会	JFEスチール(株) 一宮克行 Tel. 086-447-3961 Fax. 086-447-3939 k-ichimiya@jfe-steel.co.jp
31, 1日	★H29年度教育講座「基礎から考えるプレス成形加工コース」(東京)	神奈川県立産業 技術総合研究所	人材育成部教育研修課教育研修グループ 高木友子 044-819-2033 ed@newkast.or.jp
31, 1日	★第34回センシングフォーラム 計測部門大会(熊本)	計測自動制御 学会	センシングフォーラム運営委員会 幹事 奈良高明 Tel. 03-5841-6916 nara@alab.t.u-tokyo.ac.jp
2017年9月			
4, 5日	★SPring-8シンポジウム2017(広島)	Spring8ユーザー協同体 (SPRUC), 高輝度光科学研究セ ンター, 理化学研究所, 広島大学	事務局 Tel. 0791-58-2785 sp8sympo2017@spring8.or.jp
5, 6日	★第33回分析電子顕微鏡討論会(千葉)	日本顕微鏡学 会 分析電子 顕微鏡分科会	京都大学 化学研究所 複合ナノ解析化学 田田充貴 Tel. 0774-38-3057 bunseki33@eels.kuicr.kyoto-u.ac.jp
6日	第174回秋季講演大会懇親会(北海道 事前申込締切8月14日)	日本鉄鋼協会	総務グループ Tel. 03-3669-5931
6~8日	第174回秋季講演大会(北海道 4号213頁)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-5932
9日	鉄鋼協会・金属学会男女共同参画合同委員会10周年記念シンポジウム 「企業・大学での助成活用とダイバーシティ推進を考える」(北海道)	日本鉄鋼協会・日本金属 学会男女共同参画委員会	日本金属学会 Tel. 022-223-3685
10~13日	★Liquid Metal Processing & Casting Conference (LMPC 2017) (Hyatt at The Bellevue, Philadelphia)	TMS	Meeting Services Tel. +1-800-759-4867 mtgserv@tms.org
12日	★日本金属学会関東支部講習会 「金属材料強度試験法—より信頼されるデータとは—」(東京)	日本金属学会 関東支部	事務局 多賀 Tel. 03-5734-3136 jim-kanto@mtl.titech.ac.jp
12~14日	第226回塑性加工技術セミナー(東京)	日本塑性加工学会	Tel. 03-3435-8301 jstp@jstp.or.jp
15日	★レアメタル研究会(東京)	東京大学生産 技術研究所	岡部徹研究室 学術支援専門職員 宮崎智子 Tel. 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
19~22日	平成29年度修士学生向け「鉄鋼工学概論セミナー」(兵庫)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
23, 24日	★スケジューリング・シンポジウム2017(福岡)	スケジューリング学会	小林 稔 Tel.03-5245-7390 kobayashi@fit.ac.jp
26~28日	★資源・素材&EARTH2017(札幌)(北海道)	資源・素材学会	事務局 Tel. 03-3402-0541 info@mmij.or.jp
28, 29日	平成29年度鉄鋼工学セミナー「強化機構専科」 (滋賀 申込締切8月28日)	日本鉄鋼協会	JFEスチール(株) 高木周作 Tel. 03-3790-3892 Fax. 03-3790-3839 s-takagi@jfe-steel.co.jp
2017年10月			
3日	第69回白石記念講座「金属材料の弾塑性変形のマクロ・マイクロモデルの進歩」(東京)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
11日	標準化と品質管理全国大会2017(東京)	日本規格協会	事務局 Tel. 03-4231-8502 sqtaikai@jsa.or.jp
11~13日	○鉄鋼分野におけるエネルギーと材料の効率化、二酸化炭素削減に関する国際 会議(International Conference on Energy and Material Efficiency and CO ₂ Reduction in the Steel Industry(EMECCR 2017))(神戸)	日本鉄鋼協会	EMECCR2017 Secretariat c/o ISS, INC. emecr2017@issjp.com
11~13日	★粉体工業展大阪2017(大阪)	日本粉体工業 技術協会	展示会事務局 (株)シー・エヌ・ティ 田島 Tel. 03-5297-8855 info2017@powtex.com
12, 13日	第30回初心者のための疲労設計講習会(京都)	日本材料学会	事務局 船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp
12, 13日	平成29年度鉄鋼工学セミナー「トライボロジーとスケール専科」 (大阪 申込締切9月12日)	日本鉄鋼協会	新日鐵住金(株) 飯田純生 Tel. 06-7670-5864 Fax. 06-7670-8679 ida.4yk.sumio@jp.nssmc.com
13日	第15回機械・構造物の強度設計、安全性評価に関するシンポジウム(京都)	日本材料学会	事務局 船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp
13, 14日	第12回材料の衝撃問題シンポジウム(京都)	日本材料学会	事務局 船越英子 Tel. 075-761-5321 jimu@jsms.jp
22~26日	★The 8th International Symposium on Surface Science (ISSS-8) (茨城)	日本 表面科学会	Tel. 03-3812-0266 iss8@sss.org
23~25日	第25回鉄鋼工学アドバンスセミナー(千葉)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933

開催期日	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
26, 27日	★第53回X線分析討論会(徳島)	(公社)日本分析化学会 X線分析研究懇談会	徳島大学 山本 孝 Tel. 088-656-7263 takashi-yamamoto.ias@tokushima-u.ac.jp
26, 27日	機械材料・材料加工部門 企画講習会 「もう一度学ぶ機械材料学」(東京)	日本機械学会 機械材料・材料加工部門	荒木弘尊 araki@jsme.or.jp
30~1日	修士・博士学生向け「第11回学生鉄鋼セミナー 材料コース」 (広島 申込締切7月31日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
2017年11月			
1~4日	★The 12th International Symposium on Advanced Science and Technology in Experimental Mechanics(石川)	日本実験力学学会	金沢工業大学 中田政之 Tel. 076-274-9255 nakada@neptune.kanazawa-it.ac.jp
2~4日	★8th International and 10th Japan-China Joint Symposium on Calorimetry(CATS-2017)(福岡)	日本熱測定学会	Tel. 03-5821-7120 netsu@mbd.nifty.com
4~6日	★第53回熱測定討論会(福岡)	日本熱測定学会	Tel. 03-5821-7120 netsu@mbd.nifty.com
5~10日	★第18回材料集合組織国際会議(18th International Conference on Textures of Materials(ICOTOM 18))(St George, Utah, USA)	Stuart Wright(EDAX), David Fullwood(BYU) and Matthew Nowell(EDAX)	大阪府立大学 井上博史(ICOTOM国際委員) inoue@mtr.osakafu-u.ac.jp
7日	第231回西山記念技術講座「破壊力学」の進展とインフラ・構造物の信頼性~安全、安心を管理するフラクチャー・コントロール~(東京)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
7~9日	★第38回日本熱物性シンポジウム(茨城)	日本熱物性学会	第38回日本熱物性シンポジウム実行委員会 Tel. 029-861-4166 info_38thJSTP_ml@aist.go.jp
8~10日	★第36回電子材料シンポジウム(滋賀)	電子材料シンポジウム運営・実行委員会	総務委員 出浦桃子 Tel. 03-5841-7131 ems@ems.jpn.org
8~10日	★第58回高压討論会(愛知)	日本高压力学学会	事務局 Tel. 070-5658-7626 touronkai58@highpressure.jp
10, 11日	第68回塑性加工連合講演会(福井)	日本塑性加工学会	事務局 井上聡美 Tel. 03-3435-8301 inoue@jstp.or.jp
10~12日	★第60回自動制御連合講演会(東京)	計測自動制御学会(幹事学会)	金子 修 Tel. 03-3292-0314 rengo60@sice.or.jp
12~16日	○第11回亜鉛および亜鉛合金めっき鋼板に関する国際会議 (11th International Conference on Zinc and Zinc Alloy Coated Steel Sheet(Galvatech2017))(東京)	日本鉄鋼協会	Galvatech2017 Secretariat c/o ICS Convention Design, Inc. galvatech2017@ics-inc.co.jp
14~16日	★第12回日本磁気科学学会年会(京都)	日本磁気科学学会	京都大学 堀井 滋 Tel. 075-753-4723 MSSJ2017kyoto@gmail.com
15, 16日	第5回国際鉄鋼科学シンポジウム(The 5th International Symposium on Steel Science - ISSS 2017)(京都)	日本鉄鋼協会	九州大学 土山聡宏 toshi@zaiko.kyushu-u.ac.jp
15~17日	★第7回 次世代ものづくり基盤技術産業展 TECH Biz EXPO 2017(愛知)	名古屋国際見本市委員会	事務局 Tel. 052-735-4831
17日	★レアメタル研究会(東京)	東京大学生産技術研究所	岡部徹研究室 学術支援専門職員 宮嵩智子 Tel. 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
28日	第232回西山記念技術講座「破壊力学」の進展とインフラ・構造物の信頼性~安全、安心を管理するフラクチャー・コントロール~(大阪)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933
30, 1日	★第16回評価・診断に関するシンポジウム(熊本)	日本機械学会 機械力学・計測制御部門	第16回評価・診断シンポジウム実行委員会 実行委員長 崇城大学 工学部 機械工学科 里永憲昭 hss2017@jsme.or.jp
2017年12月			
2, 3日	★日本中性子科学学会第17回年会(福岡)	日本中性子科学学会	第17回年会実行委員会 Tel. 092-871-6631 内線6241 jsns2017@fukuoka-u.ac.jp
5, 6日	溶接構造シンポジウム2017「超スマート社会を支える基盤溶接技術」(大阪)	溶接学会 溶接構造研究委員会	大阪府立大学 柴原 Tel. 072-254-9345 shibahara@marine.osakafu-u.ac.jp
5~7日	★第43回固体イオニクス討論会(山形)	日本固体イオニクス学会	第43回固体イオニクス討論会実行委員会 実行委員長 川田達也 Tel. 022-795-6976 ssij43-org@ceram.material.tohoku.ac.jp
11, 12日	★3rd International Conference on Science and Technology of Ironmaking & Steelmaking(インド工科大学カンプール校)	インド工科大学カンプール校	IIT Kanpur, Prof. Dipak Mazumdar Tel. 91-512-2598535 stis17@iitk.ac.in
11, 12日	平成29年度鉄鋼工学セミナー「材質制御専科」 (東京 申込締切11月6日)	日本鉄鋼協会	日新製鋼(株) 藤原 進 Tel. 0823-25-8318 Fax. 0823-25-8277 fujiwara.s366@nisshin-steel.co.jp
13~15日	修士・博士学生向け「第11回学生鉄鋼セミナー 製鉄・製鋼コース」 (兵庫 申込締切7月31日)	日本鉄鋼協会	育成グループ Tel. 03-3669-5933

開催期日	行事(開催地/詳細掲載号および頁)	主催者	問合せ・連絡先
2018年1月			
12日	★レアメタル研究会(東京)	東京大学生産技術研究所	岡部徹研究室 学術支援専門職員 宮崎智子 Tel. 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
2018年2月			
6~9日	★Asia Steel 2018(Asia Steel International Conference 2018) (Bhubaneswar, Odisha, India)	The Indian Institute of Metals and Tata Steel	asiasteel2018@tatasteel.com
2018年3月			
9日	★レアメタル研究会(東京)	東京大学生産技術研究所	岡部徹研究室 学術支援専門職員 宮崎智子 Tel. 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
19~21日	第175回春季講演大会(千葉)	日本鉄鋼協会	学術企画グループ Tel. 03-3669-6932
2018年5月			
28~31日	★OCEANS'18 MTS/IEEE Kobe/Techno-Ocean 2018(OTO'18)(兵庫)	IEEE	OTO'18実行委員会事務局
2018年8月			
5~8日	15th International Symposium on Functionally Graded Materials (ISFGMs 2018) -Structural Sector Approaches for New Functionalities and Durability-(福岡)	傾斜機能材料研究会	Tel. 072-254-9345 fgms_2018@f-jast.or.jp

ブックレビュー

粘度測定 ガラスとメルト いろいろな測定法開発の記録-八転び七起き

白石 裕 著

アグネ技術センター 2016年12月発行

A5版・並製 159頁 定価 本体2,400円+税 ISBN 978-4-901496-83-4 C3043

本書は白石裕教授(東北大学名誉教授)の50年以上にもわたる「粘度」の研究業績を基に執筆された1冊である。本書は、高温溶融状態のガラスとメルトの粘度測定に関する8つの測定法(粘度計)について、測定原理や測定装置の解説に留まらず試料作成のコツ、長年の研究経験談なども踏まえて解説された書籍であり、「粘度」初心者にも読みやすく書かれた良書である。また、ガラスからメルトまで連続的に温度を変化させて粘度測定をするときの温度と粘度の関係や粘度測定過程で必要となるいくつかの現象(核生成、結晶

成長、ガラス転移・温度など)についてもまとめてあり、この1冊でガラスを中心とした高温溶融物質の粘度測定に関する幅広い知識を学べるように工夫されている。ガラス、スラグ、メタルなどの粘度測定をこれから必要とする方や興味をお持ちの方にはお勧めの入門書であり、既に粘度測定に従事している技術者・研究者で研究開発のヒントを探している方にも一読する価値がある書籍である。

(秋田大学 大学院理工学研究科 物質科学専攻 棗千修)

【訂正とお詫び】

本誌Vol.22 No.6冊子版 掲載記事に誤りがございました。訂正してお詫びします。

p.280 連携記事

(誤) Superconducting Magnet for Diagonstic Imaging Systems

(正) Superconducting Magnet for Diagnostic Imaging Systems

p.311 協会の活動から 第173回春季講演大会学生ポスターセッション報告

(誤) 第173回春季講演大会会期中(2017年3月16日)に大阪大学で開催いたしました

(正) 第173回春季講演大会会期中(2017年3月16日)に首都大学東京で開催いたしました

次号目次案内

* 定期刊行物の掲載記事及び題目は変更になる場合があります。

ふえらむ Vol.22 (2017) No.8 掲載記事

Techno Scope

土壌を浄化する鉄粉

連携記事

土壌、地下水浄化用鉄粉の開発

..... 古田智之((株) 神戸製鋼所)

学術功績賞記念特別講演

寿命予測に向けての腐食挙動評価手法の現状と課題

..... 篠原 正(物質・材料研究機構)

耐熱鋼・耐熱合金の基礎研究

..... 村田純教(名古屋大学)

鉄鋼スラグの熱力学と有効利用

..... 森田一樹(東京大学)

展望

鋼の新しい耐水素脆化評価法と材料設計に向けて

..... 南雲道彦(早稲田大学)、他

入門講座

材料の構造を見る回折現象-3

X線/中性子線小角散乱

..... 大沼正人(北海道大学)

躍動

鉄鋼の損傷劣化評価の難しさと面白さ

..... 白岩隆行(東京大学)

アラカルト

会員からの寄稿

官営八幡製鐵所製鋼工程の造り直し

—平炉二段階製鍊方式に全面変更したのは、何故だったか—

..... 磯 平一郎

「鉄と鋼」 Vol.103 (2017) No.8 掲載記事

製鉄

石炭の加熱過程における塩素の行方

..... 坪内直人、他

分析・解析

鋼中非金属介在物分布の三次元可視化

..... 若生昌光、他

加工・加工熱処理

ガスジェット冷却特性に及ぼすノズル配置と距離の影響

..... 小林弘和、他

相変態・材料組織

DP鋼の応力-ひずみ曲線を支配する組織因子のスパース学習

..... 弘川奨悟、他

IF鋼の引張変形におけるボイド発生・成長挙動の放射光X線ラ
ミノグラフィ法とEBSDによる解析

..... 古君 修、他

力学特性

高張力鋼板の引張変形時におけるセメントイトによるボイド形
成と局所方位差評価

..... 前田真利、他

微量炭素・窒素を添加したフェライト鋼のHall-Petch係数に及
ぼす低温時効処理の影響

..... 荒木 理、他

ISIJ International Vol.57 (2017) No.8 掲載記事

Special issue on “Challenges and Progress of Science and Methodology to Thermophysical Properties of Molten Alloys, Slags and Fluxes at High Temperatures”

Preface to the special issue on “Challenges and progress of science and methodology to thermophysical properties of molten alloys, slags and fluxes at high temperatures” H. Fukuyama *et al.*

Evaluation model for viscosity of Fe-Ni-Cr alloys using gibbs free energy of mixing and geometric methods Y. Liu *et al.*

Accurate viscosity calculation for melts in SiO₂-Al₂O₃-CaO-MgO systems L. Gan *et al.*

Shear rate and crystalline phase effects on the super-cooling degree and crystallization behavior of CaO-SiO₂-CaF₂-RO (R=Mg, or Sr) flux systems Y. Harada *et al.*

Viscosity measurement of slags using rotating bob and vibrating finger viscometer D. Chebykin *et al.*

Wetting, spreading and penetration phenomena of slags on MgAl₂O₄ spinel refractories T. Yoon *et al.*

Thermodynamic interaction between chromium and phosphorus in high Cr containing liquid iron K-h. Do *et al.*

Accurate density calculation for molten slags in SiO₂-Al₂O₃-CaO-MgO systems J. Xin *et al.*

平成28年度一般社団法人日本鉄鋼協会事業報告・収支決算 (平成28年3月1日～平成29年2月28日) および 平成29年度一般社団法人日本鉄鋼協会事業計画・収支予算 (平成29年3月1日～平成30年2月28日)

平成29年4月24日に開催されました一般社団法人日本鉄鋼協会定時社員総会において、標記報告等が承認されました。以下にその概要をお知らせします。

I. 平成28年度一般社団法人日本鉄鋼協会事業報告・収支決算 (H28.3.1～H29.2.28)

平成28年度は第2期中期計画の初年度であった。活動内容としては、(1) 協会基本活動の活性化、(2) 鉄鋼の学術・技術の活性化、(3) 人材育成、(4) 他学協会との連携強化、(5) 政府の科学技術・産業技術政策への対応、(6) 内外への情報発信力の強化、等の実施に重点を置いた事業活動を展開した。

1. 協会基本活動の活性化

会員数、講演大会発表件数、論文誌への投稿論文数の増大を学協会の基本活動として重点を置いている。

会員数はリーマンショック後の景気変動の影響も受け、微減傾向が続いている。平成28年度末時点で個人会員総数で8,561名(前年度末8,720名)、うち正会員7,469名(前年度末7,689名)、また維持会員176社(前年度末169社)である。また、平成29年に導入された学生会員から準会員への転格制度は138名が利用した。

平成28年度の春季講演大会は東京理科大学で、秋季講演大会は大阪大学で開催された。講演大会での研究発表件数については、一般講演は春季大会338件、秋季大会360件、討論会は春季大会3テーマ25件、秋季大会6テーマ39件、国際セッションは春季大会は2テーマ24件、秋季大会はなし、であった。登録参加者は、春季大会1,353名、秋季大会1,292名であった。学生ポスターセッションの発表は春季大会86件、秋季大会76件であった。

論文の状況は、1～12月の合計で、投稿論文数は「鉄と鋼」111(前年111)件、「ISIJ Int.」690(前年663)件、同様に掲載論文数は「鉄と鋼」94(前年89)件、「ISIJ Int.」306(前年355)件であった。

2. 鉄鋼の学術・技術の活性化

新規研究として、研究会Ⅰは「通気性確保に向けた高炉内融着現象の制御」、「未利用熱エネルギー有効活用」、「適応的エリアセンシング手法を用いた知能化設備異常診断」、「鉄鋼中の軽元素と材料組織および特性」、「溶鋼リアルタイム分析」の5件、研究会Ⅱは「アルカリ溶出抑制のための製鋼スラグ凝固組織制御」、「鉄鋼材料の土壌腐食機構の解明」、「高機能溶融亜鉛めっき被膜創成とナノ解析」の3件を開始した。

継続研究として、研究会Ⅰは9件、研究会Ⅱは4件、産発プロジェクトは1件、を実施した。

鉄鋼研究振興助成については、前年度に採択決定した36件に

ついて助成を行った。

平成29年度に向けて、研究会Ⅰを5件、研究会Ⅱを2件、鉄鋼研究振興助成35件の採択を行った。

3. 人材育成

- 1) 学生育成として、企業経営幹部による大学特別講義は10大学で実施された。また企業講師及び専務理事による大学特別講義も15大学で実施された。学生鉄鋼セミナーは2コースが実施され32名の参加、修士学生向け鉄鋼工学概論セミナーは26名、学部学生向け最先端鉄鋼体験セミナーは、新日鐵住金鹿島38名、JFEスチール西日本福山16名、神鋼加古川19名の参加であった。学部学生の製鉄所見学は17回実施され、総計906名が参加した。
- 2) 企業人材育成として、42回目となる蔵王での鉄鋼工学セミナー(165名参加)が開催されたほか、鉄鋼工学セミナー専科については、凝固、製鋼熱力学、溶接・接合科学、精錬プロセス解析、強化機構、沸騰現象と鋼材の冷却技術、熱力学原理に基づく製鉄プロセスの解析と演習、材質制御の8テーマ(139名参加)、24回目となる鉄鋼工学アドバンストセミナー(35名参加)が開催された。
- 3) 西山記念技術講座では、「社会インフラにおける鋼構造・鉄鋼材料の歴史・現状・将来展望」(参加総数70名)及び「鉄鋼の製造プロセスを革新し続けるセンシング技術」(82名)をテーマに開催した。また、白石記念講座は「変形・強化機構を極めて、新規材料創出に挑め!」(48名)をテーマに開催した。
- 4) JABEE 技術者教育プログラム認定活動の一環として、材料および材料関連分野審査会等を開催した。

4. 他学協会等との連携強化

日本金属学会との講演大会相互聴講を実施した。また日本鉄鋼連盟をはじめとして鉄鋼環境基金、鉄鋼スラグ協会、日本鋼構造協会と「鉄鋼関連助成事業連絡会」を2回開催した。さらに日本鋼構造協会との連携の一環として建設用鋼材利用検討WGの下に「維持管理合同会議」を2回開催した。

5. 政府の科学技術政策・産業技術政策への対応

日本鉄鋼協会が提案した科学技術振興機構の産学共創基礎基盤技術開発制度「ヘテロ構造制御金属材料プロジェクト」の支援、政府の未来開拓研究制度での構造材料研究について必要な協力・支援を行った。

6. 内外への情報発信力の強化

- 1) 春季講演大会において経営トップ特別講演として三喜俊典日新製鋼(株)代表取締役社長が「日新製鋼の技術開発—お客様とともに創り上げる技術・商品」と題する講演を実施した。
- 2) 二国間シンポジウムとして9月に仙台にて第14回日本・中国鉄鋼学会会議を開催した(参加者数は日本46名、中国16名、発表件数は日本13件、中国13件)。
- 3) 日本学術振興会の科研費補助金により「鉄鋼・材料系ジャーナルサイトのプラットフォーム機能強化による国際情報発達力向上」事業を実施した。(平成27年度からの5カ年事業)

Ⅲ. 平成29年度一般社団法人日本鉄鋼協会事業計画・収支予算 (H29.3.1 ~ H30.2.28)

国内経済は緩やかな回復基調にあり、東京五輪の関連整備などから建設活動が堅調に推移するなど、明るい兆しも窺われる。他方、海外に目を転じると、原油価格の上昇に伴うエネルギー関連鋼材需要の回復が期待される一方、欧米を中心とした保護主義的な動きの台頭、一部の新興国の政情不安・成長鈍化に伴う鋼材需要の停滞、各地での通商問題の頻発に加え、原料炭価格等の高騰による生産コストの上昇など、日本鉄鋼業を取り巻く環境は依然として厳しい。我が国の粗鋼生産量は平成28暦年では1億477.2万トン（前年比0.3%減）となった。海外に関しては、世界粗鋼生産は同暦年では16億2,852.4万トン（前年比0.8%増）となった。このうち、中国の粗鋼生産は8億837.0万トン（前年比1.2%増）で、高水準の生産が続いている。

鉄鋼技術においても、中国、韓国等新興国の追い上げは厳しさを増し、生産能力のみならず、品質面、技術面でも向上が著しく、世界のトップを走る我が国としては産官学を挙げてその地位を確保することが大きな課題である。

大学では、鉄鋼研究のベースを確保することは喫緊の課題である。また、大学での人材育成への産側のニーズは高いが、大学教育の流れの中できめ細かい鉄鋼技術教育を期待することが困難な状況となっている。こうした状況の中、産学が問題を共有し、鉄鋼に係る新技術開発、人材育成、イノベーションを可能とする社会システムの改革を促進するべく本会の活動を進める。

このため、本会の伝統である産学連携活動をベースとして文部科学省、経済産業省等の政策主体、大学・国研等の研究教育機関、関連団体、企業活動との連携を深め、コストパフォーマンスの高い協会活動を指向する。

これらを踏まえ、平成29年度の本会活動としては、以下の項目等の実施に重点をおいた事業活動を展開する。

具体的な施策

1. 協会基本活動の活性化

- 1) 学会部門、生産技術部門および関係委員会等の連携・協調のもと、会員数、講演大会発表件数、論文誌への投稿数の増加といった学協会としての基本的活動の強化・充実を図る。特に本年から準会員期間が2年から10年に延長される等の見直しが行われることから、新たな準会員制度を活用し、会員数の増加を図る。
- 2) 第173回春季講演大会を3月15日（水）-17日（金）に首都大学東京南大沢キャンパスにて開催、第174回秋季講演大会を9月6日（水）-8日（金）に北海道大学札幌キャンパスにて開催する。

2. 鉄鋼の学術・技術の活性化

- 1) 学会部門と生産技術部門との連携強化をベースとして、新しい研究課題の発掘・発信を図る。

- 2) 学会部門ではフォーラム活動や研究会の充実、理学等も含めた新たな学術シーズの取り込みを進める。
- 3) 生産技術部門では分野別の技術部会活動を中心に、機動的、弾力的運営を行い、特に若手技術者・研究者の育成に重点を置いた活動を進めるとともに、関連境界領域での課題にも取り組む。

3. 人材育成

- 1) 平成23年度から開始した「修士学生向け鉄鋼工学概論セミナー」、「学部学生向け最先端鉄鋼体験セミナー」、「企業経営幹部による大学特別講義」等の円滑な推進・更なる充実を図る。また学部学生向け製鉄所見学のより一層の充実を図る。
- 2) 企業技術者の育成事業である「鉄鋼工学セミナー」、「同専科」、「アドバンスセミナー」は企業の人材ニーズに対応した展開を図る。
- 3) 西山記念技術講座・白石記念講座等はニーズを踏まえたタイムリーな企画を進め、内容充実を図る。
- 4) JABEE（日本技術者教育認定機構）と連携し、高等教育機関等の教育プログラムの改善・向上に貢献する。

4. 他学協会等との連携強化

日本金属学会、日本熱処理技術協会等、関係の学協会との協力推進について協議を進める。さらに日本鉄鋼連盟、鉄鋼環境基金、日本鋼構造協会、鐵鋼スラグ協会、金属系材料研究開発センター等、関係団体と研究助成、人材育成等の面で連携強化のための協議を継続・推進する。

5. 政府の科学技術・産業技術政策への対応

- 1) 政府で推進している構造材料技術開発プロジェクトの円滑な推進に向けて協力する。
- 2) 科学技術振興機構（JST）の産学共創基礎基盤研究「ヘテロ構造制御金属材料プロジェクト」の開発については技術テーマの提案組織の一員として積極的に協力を行い、同プロジェクトの成功を期する。
- 3) 材料戦略委員会活動、日本学術会議とも連携し、材料分野の学術・技術政策の充実を図る。

6. 内外への情報発信力の強化等

- 1) 春季講演大会時の経営トップ特別講演を進めるとともに、大会を活用した情報発信強化策を検討する。
- 2) 国際会議として、6月12-16日にストックホルムにて第2回日本・ドイツ・ノルディック諸国シンポジウム、10月11-13日に神戸にて第3回 EMECR を、11月12-16日に東京にて第11回 GALVATECH を、11月13-16日に京都にて第5回 ISSS を開催する。
- 3) 日本学術振興会の科研費補助金により「鉄鋼・材料系ジャーナルサイトのプラットフォーム機能強化による国際情報発信力向上」事業を平成27年度から31年度までの5年計画で推進する。
- 4) 協会に蓄積する各種研究・技術情報の電子化を更に推進する。